



# 赤麻小だより



令和3年度 第3号

令和3年5月21日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくましい子

## 令和3年度 第1回 学校運営協議会を開催

5月19日（水）第1回学校運営協議会が開催されました。



主な内容は以下の通りです。

- ①委嘱状交付
- ②授業参観（全クラス）
- ③学校運営の基本方針の承認
- ④協議
  - ・授業参観の感想
  - ・新型コロナウイルス感染症への対応
  - ・とちぎ未来アシストネットの活用
  - ・小中一貫教育の推進
  - ・教員の働き方改革
  - ・GIGA スクール
- ⑤給食試食

今年度の学校運営協議会の皆様です

- |           |              |   |
|-----------|--------------|---|
| （ ◎会長     | ○副会長         | ） |
| 萩原 繁 様    | （交通指導員）      |   |
| 石川 淳子 様   | （主任児童員）      |   |
| 田中 ひろみ 様  | （地域コーディネーター） |   |
| 鯉沼 裕子 様   | （地域コーディネーター） |   |
| ○知久 貴行 様  | （あかまる隊隊長）    |   |
| 毛塚 友隆 様   | （PTA会長）      |   |
| ◎藤野 喜代子 様 | （元教員）        |   |
| 印部 稔      | （学校長）        |   |
- 1年間よろしくお祈りします

## 学校運営協議会とは？

学校運営について学校とともに協議し、地域とともにある、特色ある学校づくりの推進に役立てるために、また保護者及び地域住民の理解、協力、参画等を推進するために開かれるものです。この学校運営協議会のある学校をコミュニティスクールといいます。

メンバーは保護者や地域住民の中から、校長に推薦され、教育委員会より任命された最大9名までの委員で構成されます。地域コーディネーター・校長も委員の一人です。

権限・機能は以下の3つです。

- ①校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること。
- ②学校運営について教育委員会又は校長に意見を述べることができること。
- ③学校・家庭・地域の連携が促進されるように協議をすること。

## 【第1回運営協議会での主な意見・感想等】

### <授業参観の感想>

- 教室前面の掲示物がUD化され、すっきりしていた。全教室で行われており、チームワークのよさを感じた。
- 道徳の授業ではネームカードの活用等、工夫されていた。
- 一人一人に細かいところまで丁寧に指導されていたのがよかった。
- かけ算九九を歌で指導したり、鉛筆の持ち方を合い言葉のように指導したり、テレビの画像や専用の黒板をつまぐ使ったりと、指導の工夫が見られ、素晴らしかった。
- どの学級の授業も先生方が熱心に、工夫して指導していた。
- 全体的に明るく、楽しく学習している様子を感じられた。
- 「なぜ」を考えさせることで、児童を主体的に学ばせているのがよい。
- 児童と教師の距離感が近く感じられ、よかった。考える時間をしっかりととっていた。
- あまり見られない体育の授業を見せてもらえてよかった。マスクを着用しなければならぬ状況がかわいそつだ。また、マットの前転だったので、髪の毛の長い女子が気になった。
- 教師主導ではなく、児童主体の授業が行われていた。このことが楽しい授業、学習内容の定着につながるので、今後も続けていって欲しい。

### <新型コロナウイルス感染症への対応について>

- 児童と直接接する先生方にこそ、ワクチンを優先接種してもらいたい。

### <昼休みの見守りボランティアについて>

- 児童に声を掛けられたり、接したりすることができ、楽しくできている。これからも無理なく協力していきたい。

### <デジタル化について>

- タブレットやデジタル教科書等は有効だが、デメリットも含めてまとめ、確認してもらいたい。



# 本校の今年度の学校経営

学校運営協議会で承認していただきました

学校教育目標 **あかるい子** **かしこい子** **たくましい子**

## あかまっ子の合い言葉

### <なぜ>

- あ : 明るいあいさつ、進んでしよう (あかるい子)
- か : 考え合い、学び合おう (かしこい子)
- まっ : まっすぐ目を見て話を聴こう (かしこい子)
- こ : 困難も不撓不屈で頑張ろう (たくましい子)

学校経営方針	栃木市名誉市民 山本有三の精神「生命・人権尊重・絆」を基盤とする教育
	1 学級経営の充実・・・ <b>ルールの確立</b> 自己肯定感の育成 特別支援教育や外国語能力を生かした指導の推進
	2 授業力・指導力の向上・・・ <b>自ら考え学ぶ意欲の育成</b> 個に応じたきめ細かい学習指導 <b>学び合い</b> の推進 <b>ICTの活用</b>
	3 道徳教育・人権教育の推進・・・いじめや差別を許さない心の育成 <b>藤岡一中ブロック道徳研究の推進</b>
	4 地域とともにある学校づくりの推進・・・とちぎ未来アシストネットの活用 コミュニティ・スクールの推進 小中一貫教育の推進
5 同僚性の推進・・・「チームあかま」としての協働体制の強化 報・連・相・確の徹底	

R3学校課題 「わかる!」「できる!」を楽しみながら、考え表現する力を高める授業の創造  
～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善を通して～

<b>あかるい子</b> 『優しさで向上心を持ち、自他を尊重できる子』	<b>かしこい子</b> 『自ら課題を見つけ、協働して学び合う子』	<b>たくましい子</b> 『粘り強く、最後までやりぬく子』
<b>ア</b> 基本的な生活習慣の定着 ☆あいさつ・返事の日常化 ○早寝早起き朝ご飯 <b>イ</b> 心豊かで、喜び合い、励まし合い、支え合う子どもの育成 ○道徳教育・人権教育の充実 ○特別支援教育の視点からの教育の充実(教室環境・人的環境のユニバーサルデザイン化) <b>ウ</b> 学校や地域社会を愛し、地域とともに成長する子どもの育成 ○地域の歴史、伝統、自然を大切にしている心の育成 ○地域の教育力を生かした特色ある教育活動の推進 (とちぎ未来アシストネットの活用) <b>◆R2、3年度 栃木市教育委員会指定 道徳教育推進形学校 (藤岡一中ブロック4校)</b>	<b>ア</b> 基礎的・基本的な学習内容が確実に身に付いた子どもの育成 ◎ 基礎的・基本的な知識・技能の習得(さわやかラーニングタイムの充実) ◎特別支援教育の充実(授業のユニバーサルデザイン化) <b>イ</b> 学習意欲があり、主体的に学び合う子どもの育成 ◎学び合いによる学習の推進 ◎自分の考えを表現する場の設定 ○ふるさと学習の充実 ☆ <b>家庭学習 読書の習慣化</b> <b>ウ</b> 学習意欲を高めるためのわかる授業づくりと学業指導の充実 ◎学業指導の充実 (聴く姿勢の徹底・立腰で集中力アップ) ◎学習意欲を高めるための授業の工夫 (一人一研究授業の実施・見せ合う授業の実施)	<b>ア</b> 健康で安全な生活態度や習慣が身に付いた子どもの育成 ○教育相談の充実 ○食育の充実 ○青帯指導の強化 <b>イ</b> 運動に親しみ、進んで体力の向上に努める子どもの育成 ☆楽しく活力ある体育授業の工夫 <b>体力づくりの強化</b> <b>ウ</b> 失敗を恐れず、粘り強くやり抜く子どもの育成 ○挑戦する機会の充実 ○成功体験からの自己肯定感の育成 

◎学校課題との関連 ☆小中一貫教育との関連 赤字：昨年度と変わったところ 斜体：R2学校改善計画(低学年)

本校ならではの教育  
**「地域の教育力を生かし、地域の中に生き、地域と一体となった教育」**